

## 授業計画（シラバス）

<b>■科 目</b>	<b>口腔解剖学</b>	<b>■講師名</b>	中山 光子
I 部 1 学年	前期 15 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間	講義 2 単位
<b>■学修概要</b>			
<p>歯科衛生活動をおこなうための頭頸部領域の専門的知識を理解し、臨床科目を理解するうえで必要な知識を修得する。</p>			
<b>■授業目的、到達目標</b>			
<p>授業目的：解剖学で勉強した知識を元に、頭頸部の詳しい構造を学習し歯科衛生士に必要な知識を得る。          到達目標：歯の形態や、頭蓋骨の構造、咀嚼に関与する筋肉、神経の走行などを説明できる。</p>			
<b>■授業方法</b>			
講義と歯牙模型の観察（講義資料を事前に用意し持参すること）			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b>			
歯科衛生学シリーズ／口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版			
<b>■成績評価・講義上の注意</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期試験による評価を行う。</li> <li>2. 講義内容に関係のない私語や行動などはやめること。<u>必要に応じて退出を命じる。</u></li> <li>3. 学習内容の理解度に応じて、講義の進行や使用する標本等を変更する。</li> <li>4. 講義中の写真・動画撮影、講義資料を SNS 等へ投稿することを禁ずる。</li> </ol>			
<b>■実務経験</b>			
<p>現在病理学講座に所属しているが、元解剖学講座教室員（日本大学松戸歯学部）として勤務した経験があり、口腔解剖学実習、解剖学実習などの実務経験に基づいて歯科衛生士養成に向けた授業を展開する。</p>			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	歯の一般構造		
2	切歯の形態（講義と歯牙模型の観察）		
3	犬歯の形態（講義と歯牙模型の観察）		
4	小臼歯の形態（講義と歯牙模型の観察）		
5	大臼歯の形態（講義と歯牙模型の観察）		
6	頭蓋骨（全体像）		
7	頭蓋骨（脳頭蓋）		
8	頭蓋骨（顔面頭蓋）（口腔を構成する骨）		
9	表情筋・咀嚼筋・頸部の筋		
10	循環器（頭頸部の動脈系・静脈系・リンパ系）		
11	呼吸器系・消化器系		
12	神経系（中枢神経 1）		
13	神経系（中枢神経 2・脳神経 1）		
14	神経系（脳神経 2・頸神経）		
15	定期試験、解答解説		